

～病院見学会～

病院完結型医療から地域完結型医療をめざす 「ふくやま病院」の取り組み

日時: 2017年10月28日(土) 14:00～16:00 定員:10名 参加費:無料

場所: 兵庫県明石市硯町2丁目5-55 ふくやま病院内

平成30年の同時改定を前に、多くの医療機関、介護事業所が地域包括ケアの実現にむけてあらたな取り組みを行っています。病院は、これまでの病院中心の医療提供ではなく、地域におけるサービス提供機関の1つであることを念頭に活動しなければなりません。地域住民にとって身近で頼りになる存在であるために、何のために病院運営をするのかという本質的な問いに対して模索している病院が多いでしょう。

今回の研究会は、現地フィールドワークとして、開設以来、在宅ケア、地域医療を実践しておられる「ふくやま病院」への見学会を実施いたします。

ふくやま病院は昭和49年に有床診療所として明石市で開設されました。当時から、医療から在宅ケアまでを地域全体で取り組む地域完結型医療を目指して地域医療に取り組んでこられました。平成28年には病院を移転・新設され、新しく緩和ケア病棟も開設されました。「また来てね」と言える病院」をコンセプトに、病院のみならず、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーション、通所リハビリ等の在宅医療部門を持ち、地域医療に欠かせないたくさんのサービスを展開されているほか、院内にコミュニティホールやライブラリを併設し、病院主催の講座やセミナー、ワークショップの提供や地域住民主催の会議イベントなど、健康な地域づくりの拠点となるための取り組みを行い、病院だけで完結する医療ではなく、地域社会と一体となってケアをしていく地域完結型の医療を実践されています。また、明石市との協賛で、「市民が安心して住み続けられるユニバーサルなまち」をテーマに、日本ではじめて病院でフューチャーセッションを実施するなど、まさに市と一体となった地域づくりに取り組んでおられます。

見学会では、「健康的で明るく豊かな地域社会を築き上げる」という病院理念のもと、病院でありながら、病院がなくても安心して過ごせる地域づくりの実現を目指し、地域医療を実践されている日々の取り組みを学ぶほか、ふくやま病院のみなさまの考える地域包括ケアにおける病院のあるべき姿について譜久山剛理事長ご説明いただき、参加者の皆様各々の病院の進むべき方向を学ぶ契機になればと考えています。

■申し込み方法 当該用紙をFAXもしくは下記ホームページからお願いします。締切:2017年10月25日(水)

申込ホームページ <http://byouinkeiei.jp>

■日時 2017年10月28日(土) 14:00～16:00 定員:10名 参加費:無料

■場所 兵庫県明石市硯町2丁目5-55 ふくやま病院内 (現地病院玄関前集合)

■対象 医療福祉関係の皆様 (医療従事者、介護福祉従事者、大学生など、経営に携わらない方でも参加可能)

FAX 送信先:075-432-7398 (※個人情報および病院経営研究会に関する案内のみに利用致します。)

氏名 (フリガナ)		
メールアドレス(必須)		
勤務先/職種	勤務先:	職種:
名簿記載について	・載せても構わない ・載せないでほしい 【お名前・所属・職種】を載せた名簿を配布いたします	

■問い合わせ先 病院経営研究会事務局 (担当:清土) TEL:075-432-7397 / FAX:075-432-7398

兵庫県明石市硯町 山陽西新町駅前 内科・消化器内科・糖尿病内科・呼吸器内科・外科・整形外科・消化器外科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科



[> トップページ](#) [> 交通アクセス](#) [> お問い合わせ](#)

☎ **078-927-1514**

電話受付 平日9:00~19:00 土曜9:00~12:30
日祝休診 ※急患は随時受付



> 外来受診
をされる方

> 診療科目
を知りたい方

> 入院
について

> 緩和ケア
を受けたい方

> 在宅医療・介護
を受けたい方

> 医療機関
のみなさまへ

名 称	医療法人社団 医仁会 ふくやま病院
院 長	譜久山 仁
設 立	昭和49年4月
所在地	〒673-0028 兵庫県明石市硯町2丁目5-55
診療科目	内科・消化器内科・糖尿病内科・呼吸器内科・外科・整形外科・消化器外科肛門外科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
電話番号	078-927-1514(代表)
FAX番号	078-927-1619
ホームページアドレス	http://www.fukuyama-hp.jp

ひとつの病院で完結する医療から、地域で完結する医療へ 「地域とのつながり」を重視するふくやま病院の3つの取り組み



地域のお一人おひとりが住み慣れた場所で安心して生活していけるよう、院内での連携と、地域の医療機関や介護サービス事業所、行政とのネットワークを強化することで、地域に暮らす方々と地域の医療・福祉サービスとのつなぎ役としても、より一層尽力していきたいと考えています。

[詳細を見る](#)



どこでもPケアの「P」は「Palliative Care（緩和ケア）」と「Patient-centered（患者さん中心）」と「Parking（ギアのパーキング）」のP。
患者さんを中心に、何か問題があればその都度ギアをPに入れ、多職種で集まって取り組む緩和ケアを目指します。

[詳細を見る](#)



ふくやま病院は「また来てね」といえる病院を目指して、病気でなくても普段から地域の方にご利用いただけ、健康な地域づくりの拠点となる「コミュニティスペース」を備えています。
病院が主催する講座やセミナーの他、地域の方々にイベント・ワークショップ・展示・会議などお使いいただくことができます。

[詳細を見る](#)